



肝機能検査

何をする検査？

腕から、通常の採血検査を行います。

何を見ているの？

採血をした血液中に、肝臓の炎症時や飲酒等により肝臓で活性化される酵素がどれくらい含まれているかを見ています。

何がわかるの？

肝機能障害の有無や程度、疑われる病気（急性・慢性肝炎、脂肪肝、肝硬変、肝臓がん）などがわかります。

どんな人におすすめ？

飲酒を毎日する方や、お酒を飲みすぎていると感じている方、最近身体が疲れやすい、だるい、食欲不振、吐き気などある方は一度検査を受ける事をおすすめします。



● AST (IU/L)

【～30】
正常

【31～42】
正常(高値)

【43～】
注意/生活改善

● ALT (IU/L)

【～30】
正常

【31～40】
正常(高値)

【41～】
注意/生活改善

● γ -GTP (IU/L)

【～50】
正常

【51～68】
正常(高値)

【69～】
注意/生活改善

肝臓は『沈黙の臓器』と呼ばれています。症状がかなり悪化しないと不調として現れません。そうなる前に肝機能の値を調べてみましょう。また、健康診断や人間ドックで肝機能障害を指摘され、食事改善や運動等を頑張ってみたけど、数値は変化しているか？など知るためにも、プチ健診はおすすめです。

検査の結果は、医学的な診断を示すわけではありません。検査結果が気になる方は、検査結果をお持ちの上、受診をしてください。